

# 地域人材育成について

令和 4 年 9 月 2 日  
神戸市企画調整局参画推進課

## (1) 現状とこれまでの検討状況

---

### 【現状】

定年延長や共働き世帯の増加、生活スタイルの変化により、地域コミュニティへの参加の機会が減少し、従来の地域活動の担い手の高齢化や固定化が進行している。地域活動を維持していくためには、新たに地域コミュニティに関わる人材を育成するための具体的な取り組みが必要である。

### 【これまでの検討状況】

- H27～28年度 地域活動の担い手確保のためのアイデアや取り組みについて検討を行う「地域の担い手プロジェクトチーム」を開催
- H29年度 地域団体の担い手発掘・育成に関する各地域の先駆的な取り組み事例や工夫、アイデアを集約した事例集「地域の担い手ちえぶくろ」を作成
- R3年度 若い世代に向けて地域活動への参加を促す方策について検討する「地域活動の場づくりに関するワーキンググループ」を開催

## (2) 地域コミュニティに関わる人材の育成に向けた今後の取り組みの方向性

---

### ○地域に関わる機会の少ない住民が地域活動に参加しやすい仕組みづくり

- ・ 地域に関わる機会の少ない住民（若い世代や子どもがいない世帯、単身者や転入者等）に対し、地域活動への参加のハードルを下げるために、「少しだけ」「その場だけ」「得意なことで」参加できる方法を提案していく。
- ・ 地域団体等が「困っていること」を発信することで、それを解決できる団体や個人とのつながる場をつくる。
- ・ 地域活動の情報をオンラインで発信できるように支援する。

### ○地域活動への参加を促す講座の新設・交流会の実施

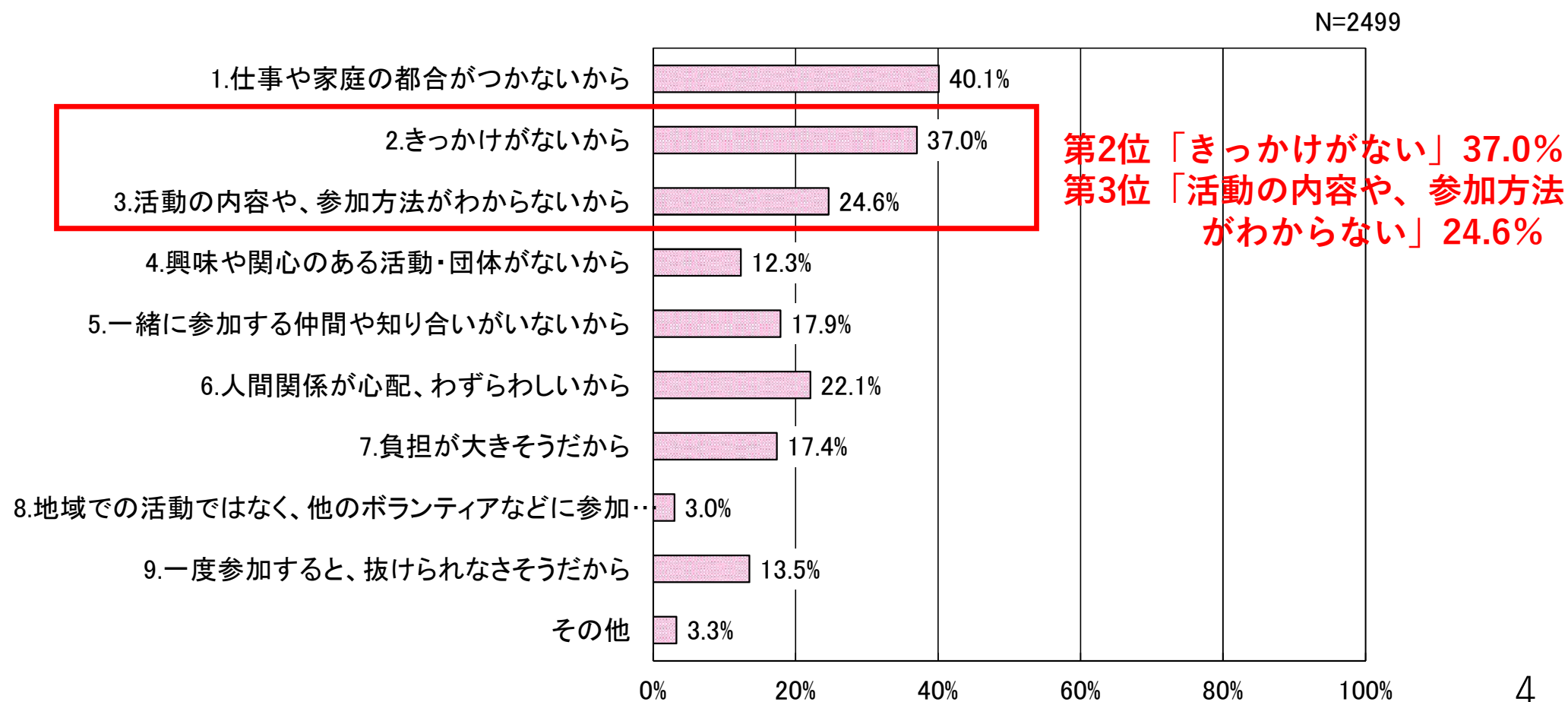
- ・ 地域活動へ参加するきっかけづくりを目的とした講座を新設し、受講終了後も、受講者が地域と関わりをもてるようなカリキュラムの構築を検討する。
- ・ 地域団体やNPO、上記講座の受講者などを対象とした交流会を開催し、地域活動に取り組む人材同士の連携を図る。

### ○インセンティブについての検討

- ・ ボランティアポイントの導入など、地域活動への参加を促すためのインセンティブについて検討を進める。

## <参考> 令和4年度ネットモニターアンケート結果

### 問4-2 地域活動へボランティアとして参加したことがない理由（複数選択）



## <参考> 令和4年度ネットモニターアンケート結果

---

問7 地域での催しによる住民の交流促進や、地域の集会所にあったらいいと思う活動や機能、地域活動へボランティアとして参加することについてのご意見、ご感想

### <地域活動への参加に関するご意見（抜粋）>

- ・ 個々の住民として「ふらりと」参加できる受け皿があれば、地域活動にデビューするきっかけになるのではないですか。
- ・ 自分がすることになる内容が事前にわかり気軽に試しに参加できるようなものなら参加できるかもしれない
- ・ 掲示板や投函チラシで目にすることはあるがWebで地域や内容ごとに検索出来るのであれば調べてみてもいいかと思う。仕事を持っている身にすれば決められた時間や日ではなく単発や選択肢がもっとあれば参加しやすいかも。
- ・ ボランティアポイントを作って、貯まると例えば神戸市立博物館の入館料が安くなるなどのメリットがあると嬉しい。
- ・ 子どもが無い夫婦です。なかなか難しいことですが、どこの街でも、子どもがいないと地域の中に入るきっかけがほぼ無いように思います。子どもがいらない人、独身で暮らしている人（若い人）が参加しやすいイベントなどがあれば良いなと思います。
- ・ どんな需要があって、地域の困りごとに対しどのような援助が必要なのか全く情報がない。無理のない範囲で手伝えることがあれば、地域活動やボランティアに参加したい人達は多いと思う。

## <参考> 想定する人物像と対応講座の例

